

## はじめに

本市では、平成7年3月に刈谷市生涯学習推進計画を策定し、以降10年ごとに計画の更新を行いながら、生涯学習に関する施策の推進に取り組んでまいりました。

平成27年3月には第3次計画を策定しましたが、計画期間の後半では、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るったことで市民の皆様の生活が一変し、本市の事業や皆様の生涯学習活動においてもその多くが中断や縮小を余儀なくされました。一方で、社会活動を継続するために生活の様々な場面で急速にデジタル化が進んだことや個人での活動を希望する方が増加傾向にあることなどにより、学習活動の形態やニーズはこれまで以上に多様化してきています。



また、グローバル化や技術の革新、国際情勢の不安定化といったことなどから、現代は将来の予測が困難な時代であると言われていています。我が国の教育政策の動向としても、少子化や人口減少、DXの進展、共生社会の実現や社会的包摂の推進などの問題を背景に「持続可能な社会の創り手の育成」や「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」といった方針が示されており、人生100年時代を迎える中、生涯学習の果たす役割はますます重要となっています。

このような状況を踏まえ、本計画では、第3次計画までの基本理念であります「自ら求め自ら満たし 生きがいをもつ 生涯学習都市」を継承しつつ、「人づくり」「仲間づくり」「まちづくり」「環境整備」の4つを基本方針として計画の柱に位置付けています。

まずは、コロナ禍で低下した生涯学習活動をコロナ禍前の水準に戻し、さらに一層の活性化を図るとともに、その活動が個人的な学習や楽しみだけにとどまるのではなく、地域への貢献やまちづくりにもつなげていただくことを目指し、各施策に取り組みながら市民一人ひとりの学習拡充プロセスの確立を支援してまいりますので、今後も生涯学習都市の実現に向けて、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたりまして、貴重なご意見をいただきました生涯学習推進会議委員の皆様をはじめ、アンケート調査にご協力をいただきました市民並びに生涯学習関係団体の皆様、ご指導をいただきましたアドバイザーの先生に心からお礼を申し上げます。

令和7年3月

刈谷市長 稲垣 武